

心豊かに  
生涯学習



# 中之町コミセンだより

第274号

## 令和3年度 コミセン運営委員会、利用団体総会を開催



地域組織の連携でコミセンを支えることを確認した運営委員会



4分の3以上の講座代表で討議が進められた利用団体総会

6月26日(土)に中之町コミセン運営委員会、7月20日(火)には中之町コミセン利用団体がそれぞれ年次総会を開催し、令和2年度の活動のふり返りと令和3年度へ向けての活動内容を討議されました。

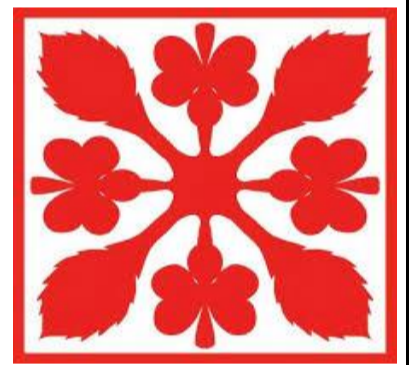
昨年来からの新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中で様々な制約を伴う活動となっていますが、「十分な対策と警戒を施しながら、地域での文化・スポーツ・健康活動の拠点としてのコミセン活動を粘り強く展開していきましょう」という意思を両方の総会で確認。新役員の選出と新しい活動方針を策定されました。

運営委員会では地域の皆さんが使い易い施設の維持という観点から、中之町財産区と協力して引き続きコミセン内のエアコン等の機器の更新などを決定して頂きました。利用団体の討議の中では、様々なコロナ対策をしながら活動を維持する自例も紹介され、「みんなで知恵を出し合って、安心・安全なコミセンを」「活動発表の場も工夫して創りましょう」ということが話し合われました。

## 「クラフトテープで小物作り」&「ハワイアンキルト」 7月、市主催の2つの講座がスタートしました♪



7月20日(火)令和3年度市主催での「クラフトテープで小物作り」(3年目)と「ハワイアンキルト」(2年目)の講座が開講しました。コロナ感染拡大を受けて5月~6月に活動自粛を余儀なくされ、2ヶ月遅れてのスタートとなりましたが申し込まれた生徒さんたちは皆「満を持して!」の参加。初めて参加された方は少し緊張気味でしたが、先輩たちの明るい雰囲気とお喋りに引き込まれて直ぐ打ち解けておられました。年内にはコミセン内のミニ発表展示会なども計画されています。楽しみですね♪

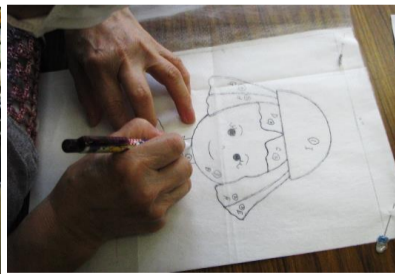


左の写真は「クラフトテープ」の成果品、右のイラストは「ハワイアンキルト」の作品成果品イメージです。

## コミセン体験講座「初心者のアップリケパッチワーク」 9月からは自主グループとしても活動を開始されます♪



講師はあちこち飛び回って大忙し。



緻密な下絵書きから始めます。



写真は講師の作品からの紹介。うっとりするような出来上がりです♪



7月21日(水)コミセン体験講座「初心者のアップリケパッチワーク」が開催されました。講師は大崎上島町からおいでいただいた松本 秀子さん(日本手芸普及協会)、参加者は9人。

アップリケは重ね貼りした様々な部位の下に綿などを入れて縫い込むことで造形の立体感を演出する高度な技法が要求されます。緻密な下絵書きから始めて、各部位を一つひとつ切り取って貼り込み丁寧に縫い込んで行きますが、小さなタペストリーでも完成には4~5時間かかるようです。今回チャレンジした作品も残念ながら完成に至った参加者はゼロ(汗...)。講師の方からは「皆さんの都合が許せば、8月初旬にもう一度教室を開きますので参加されますか?」ということで、全員が完成に向けて再チャレンジすることになりました。併せて9月からは毎月第一水曜日午後から中之町コミセン自主グループとしての開催も準備されるそうです。

見学も大歓迎♪ 皆さんのおいでをお待ちしております。